

【基本目標2】健康的で、住み慣れた地域で暮らし続けられる社会

(1) 誰もが参加できる健康づくり・疾病予防の推進

P99~P104

★重点取組み

名称	主管課	主な関係部局	概要	R4年度実績	実績数値	事業継続/終了	課題(あれば)	R5年度以降の変更点	回答部署	内線
1 生活習慣病の予防	健康づくり課	保健福祉部(福祉課地域支援担当)	健康診査や保健指導の受診率向上や、喫煙による健康被害の回避、高血圧・糖尿病の重症化予防等に取り組み、生活習慣病の発症予防・重症化予防の充実を図ります。 ・生活習慣病に関する正しい知識の普及啓発 ・健診(検診)の周知と、受診環境の整備(日時・会場等) ・未受診者への受診勧奨 ・生活習慣病予防を目的とした料理講習会の開催 ・職域や地域等との連携 ・医師会及び歯科医師会等との連携 ・特定保健指導の効果的な実施	高血圧と糖尿病予防の取組みを重点的に実施しました。 ・糖尿病の周知啓発として世界糖尿病デーに合わせ、ゆめタウンでの専門医による講話や血糖測定会、健康相談会を開催。また関係機関との連携による、糖尿病重症化予防連携推進会議を2回開催。 ・高血圧の周知啓発として、健康相談会やパネル展示を地区公民館で実施。食生活改善推進員と協力して、野菜350g計量体験など野菜摂取の啓発を新規に開始。また、減塩レシピ動画を作成しホームページに掲載。 ・特定健診受診勧奨をはがきや電話で行うとともに、訪問や地域での健康相談会等の際に実施。 ・特定保健指導は、利用しやすいように地区公民館等で開催。	・がん検診受診率(平成29年度の全国平均との差:胃▲4.5、肺▲5.2、大腸▲4.4、乳▲6.7、子宮頸▲5.1) 目標値:R3-8年度全項目全国平均以上 実績値:令和4年度 未定(R3年度 胃▲1.9、▲3.1、大腸▲2.8、乳▲4.4、子宮頸▲5.0) ・特定健康診査受診率(令和元年度実績:33.2) 目標値:R3年度 50、R4年度55、R5年度 60(R6-8はR5に設定予定) 実績値:R4年度 31.8%(7月速報値) ・特定保健指導実施率(令和元年度実績:44.2) 目標値:R3年度 56、R4年度58、R5年度 60 実績値:R4年度 21.8%(7月速報値)	継続	がん検診及び特定健診受診率の向上 特定保健指導実施率の向上 生活習慣病に関する周知啓発の充実 医療機関との連携強化 職域との連携	無	健康づくり課 健康診査担当 健康づくり課 健康指導担当	3393 3488

★主な事業

事業名	内容	所管課	R4年度実績	事業継続/終了	課題(あれば)	R5年度以降の変更点	回答部署	内線
1 国民健康保険特定健康診査及び特定保健指導	糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化予防のため「特定健康診査」を行い、健診結果に応じて自らの健康状態を理解し、生活習慣改善のための自主的な取組みを継続的に行うことができるよう「特定保健指導」を行います。	健康づくり課 保険年金課	特定健診受診者数5,296人(受診率30.9%) 特定保健指導修了者数91人(実施率18.0%) (令和5年6月時点実績) 3校区(天領・倉永・大牟田中央)については、集団健診の結果説明会を実施しました。	継続	特定健診受診率の向上 特定保健指導実施率の向上	集団健診の特定保健指導を業者委託	健康づくり課 健康診査担当 健康づくり課 健康指導担当	3393 3488
2 生活習慣病重症化予防の取組み(糖尿病性腎症重症化予防)	生活習慣病が血管の老化を進行させ、脳卒中、心筋梗塞、腎不全等を発症させることから、早期に介入し重症化の予防を図り、国民健康保険被保険者の生活の質(QOL)の向上と医療費の適正化を図ります。	健康づくり課 保険年金課	糖尿病、高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病等の重症化予防のため、受診勧奨や保健指導を実施しました。また、糖尿病性腎症重症化予防として、健診未受診者や医療機関未受診者を対象に、受診勧奨対象者218人にアプローチし、受診が確認できた者が104人でした。 糖尿病予防教室を開催(13人参加) 高血圧予防教室を開催(12人参加)	継続	医療機関との連携強化	糖尿病重症化予防の対象者の見直し	健康づくり課 健康指導担当	3487

★主な事業

	事業名	内容	所管課	R4年度実績	事業 継続/終了	課題(あれば)	R5年度以降の変 更点	回答部署	内線
3	後期高齢者健康診査	後期高齢者の生活習慣病の発症や重症化の予防をするため健康診査を行います。また、健診結果等から導かれる健康課題を把握して、効果的かつ効率的な保健事業を実施することにより、被保険者の健康の保持増進を図ります。【実施主体：福岡県後期高齢者医療広域連合】	健康づくり課 保険年金課	R4年度実績 受診者数 受診者数3,339人(受診率15.3%) 校区での集団健診に合わせて、受診勧奨ハガキによる受診勧奨を行いました。 福岡県後期高齢者医療広域連合から委託を受け、以下の保健事業を実施しました。 ・訪問健康相談事業：訪問45件・電話1件 ・健康診査フォローアップ事業：訪問7件 ・糖尿病重症化予防事業：訪問34件。6ヶ月後のフォローアップでの訪問6件、医師からの紹介による訪問6件。	継続	健診受診率の向上 質問票の活用	若年者への対応に力を入れるため、後期高齢者の糖尿病重症化予防事業は受託しない。	健康づくり課 健康診査担当 健康づくり課 健康指導担当	3393
4	20代30代健康診査及び20代30代保健指導	若い世代から生活習慣病の予防に取り組むことで、将来的な医療費の適正化にも資することから、国民健康保険被保険者の20代30代に対し特定健診同様の「健康診査」及び「保健指導」を実施します。	健康づくり課 保険年金課	受診者は240人(受診率9.6%) 夜間に電話による受診勧奨を実施しました。 保健指導対象者は56人で、実施者数37人。 (実施率66.1%)	継続	健診受診率の向上 保健指導実施率の向上	無	健康づくり課 健康診査担当 健康づくり課 健康指導担当	3393
5	国民健康保険歯周病検診	生活習慣病と関連する歯周病検診を実施し、特定健診の受診率の向上と、口腔内の健康維持を図ります。	健康づくり課 保険年金課	令和4年度特定健診対象者へ受診券を送付しました(19,429人) 受診者は1,466人(受診率7.55%)	継続	検診受診率の向上	国保以外の節目年齢(40・50・60・70歳)への拡大	健康づくり課 健康診査担当	3488
6	後期高齢者歯科健診	76歳の人を対象に、口腔機能の低下や肺炎等の疾病を予防するため口腔内の衛生状態や口腔機能を確認します。【実施主体：福岡県後期高齢者医療広域連合】	健康づくり課 保険年金課	R4年度実績 113件(受診率7.43%) (R3年度実績 70件)	継続	健診受診率の向上	無	健康づくり課 健康増進担当	3571
7	がん検診	がん検診の意義についての情報提供を行い、がん検診(特に標準化死亡比が高い肺がん・大腸がん・乳がん)の受診率向上を図ります。	健康づくり課	総受診者数(集団・個別含む)11,810人(胃がん1,855人、大腸がん4,077人、子宮頸がん2,069人、乳がん1,558人、肺がん2,251人) ・集団検診を36回実施 ・校区まちづくり協議会の協力によるがん検診案内送付(17校区 49,070通)	継続	がん検診受診率の向上	無	健康づくり課 健康診査担当	3488
8	肝炎ウイルス検診	肝がん対策として、肝炎ウイルス検診の推進を図ります。	健康づくり課	40歳かつ今まで検査を受けたことがない1,020人に対して無料クーポン券を送付し、うち77人が受診しました。	継続	受診率の向上	無	健康づくり課 健康診査担当	3488
9	健診(検診)未受診者受診勧奨	国保特定健康診査、がん検診等の未受診者に対し、受診勧奨を行います。	健康づくり課 保険年金課	・健(検)診受診勧奨(電話1,042件) ・受診勧奨はがき送付(19,626通) ・訪問538件、健康相談会等の各事業において受診勧奨を実施	継続	より効果的な受診勧奨	国保特定健診の受診勧奨業務の委託	健康づくり課 健康診査担当	3391
10	未精検受診勧奨	精密検査の未受診者に対し、受診勧奨を行います。	健康づくり課	がん検診精密検査未受診者への受診勧奨訪問(116件)、未把握者への電話による受診確認を行いました。	継続	精密検査受診率の向上	アンケートによる受診確認を実施し、未回答の人に受診勧奨訪問・電話を行う予定	健康づくり課 健康診査担当	3488

★主な事業

事業名	内容	所管課	R4年度実績	事業継続/終了	課題(あれば)	R5年度以降の変更点	回答部署	内線
11 ICTを活用した健康づくり推進事業	健康づくりや介護予防に関心の薄い人が、関心を持ち、健康づくりや介護予防活動に取り組むきっかけをつくるとともに、継続的な活動を促すため、ICT(健康アプリ等)を活用した事業を促進します。また、動画やSNS等を活用した健康情報の発信等を行います。	健康づくり課	「おおむた+Walking」アプリ登録者数2,711人(R5.3月末時点)、2021年度末から+317人。アプリを活用したまちなかARスタンプラリーを2回実施し、延べ77人が参加しました。また、スタンプラリーと合わせて地元産品・ギフト券プレゼントキャンペーンを実施しました。健康づくり推進事業の情報発信として、市公式LINEを活用するとともに、減塩レシピ動画をYouTubeで配信しました。	継続	「おおむた+Walking」アプリ利用者数の伸び悩み(市と県にそれぞれウォーキングアプリがあり、機能が共通しているところも多いため)	「おおむた+Walking」アプリのサービスをR5.9.30に終了し、今後はふくおか健康ポイントアプリ等を活用	健康づくり課 健康増進担当	3571
12 フレイル予防事業	フレイル*状態にならないために、高齢者へ、フレイル予防に関する事業を行います。	健康づくり課	フレイル予防に関する記事を広報誌やホームページに新たに掲載するほか、地域包括支援センターや地域のサロン等において、コロナ禍におけるフレイルリスクに関するリーフレットを配布し、周知啓発を実施しました。また、ゆめタウン大牟田と実行委員会を設立して「おおむた健康フェア」を7月より毎月開催し、特に2月は「フレイル予防！測定会」(来場者102名)をテーマにして開催しました。さらに、eスポーツ体験講座を市民協働部と連携して実施しました(参加者62名)	継続	コロナ禍によるフレイルリスクの拡大	無	健康づくり課 健康増進担当	3571
13 介護予防普及啓発事業	高齢者の健康と健康寿命の延伸を図るため、よかば〜い体操普及教室や歯にかみ教室、筋力アップ教室等の介護予防事業を実施します。	健康づくり課	よかば〜い体操(1,222回、延参加者数10,979人)、歯にかみ教室(9回、65人)、転倒予防教室(6回、52人)を実施しました。また、通いの場に来られない人でも運動が継続できるように、よかば〜い体操のDVDや解説書を配布しました(DVD78枚、解説書88冊)	継続	高齢者の通いの場の増加	無	健康づくり課 健康増進担当	3571
14 介護予防把握事業	フレイルチェック等の結果データ等を活用し、要介護やフレイル*の状態になる可能性の高い人を把握し、適切な予防事業につなげます。	福祉課(地域支援担当) ↓ 健康づくり課	後期高齢者の健診で質問票を用いた問診を実施し、高齢者特性を踏まえた健康状態を把握しました。 [実施主体:後期高齢者医療広域連合]	継続	対象者の拡大	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施と合せて検討	健康づくり課 健康増進担当	3571
15 ライフステージ*ごとの健康づくり	健康的な生活を送るために、ライフステージ*に応じた分野ごと(妊産婦期、子ども世代、若者世代、壮年世代、高齢者世代)の施策の推進を図ります。なお、妊産婦期、子ども世代の健康づくりについては、子ども・子育て支援事業計画に基づいた取組みを行います。	健康づくり課	各ライフステージに応じた事業を実施しました。 (計画P202~203に掲載している各事業項目を参照)	継続	事業の充実	無	健康づくり課 健康増進担当	3571
16 身体活動・運動関連事業	大牟田市スポーツ振興計画に基づいた健康づくりの取組みを行います。	スポーツ推進室	感染防止策を講じながら事業を展開することで、可能な範囲で各種スポーツ活動の機会を提供した。	継続	無	大牟田市スポーツ推進計画(計画期間:令和5年~14年度)に基づき取組みを推進	スポーツ推進室 スポーツ推進担当	4372
17 睡眠関連事業	睡眠による休養を十分にとるための普及啓発を行います。	健康づくり課	スマートライフプロジェクト(SLP)に参加しており、このSLPが作成する啓発資材を活用し、普及啓発を実施しました。	継続	周知・啓発	無	健康づくり課 健康増進担当	3571
18 飲酒関連事業	飲酒が健康に与える影響や適正飲酒に関する知識の普及啓発を行うとともに、飲酒による健康問題に関する支援に取り組みます。	健康づくり課	スマートライフプロジェクト(SLP)に参加しており、このSLPが作成する啓発資材を活用し、普及啓発を実施しました。	継続	周知・啓発	無	健康づくり課 健康増進担当	3571

★主な事業

	事業名	内容	所管課	R4年度実績	事業継続/終了	課題(あれば)	R5年度以降の変更点	回答部署	内線
19	喫煙関連事業	喫煙が健康に与える影響や受動喫煙の影響などの知識の普及啓発を行うとともに、禁煙を希望する市民への支援に取り組みます。	健康づくり課	SLPや関係団体が作成する啓発資材を活用し、普及啓発を実施しました。また、ホームページで世界禁煙デーについて啓発しました。	継続	周知・啓発	無	健康づくり課 健康増進担当	3571
20	歯・口腔の健康に関する事業	「歯と口の健康週間」や「いいな、いい歯」の週間などを活用し、関係機関、関係団体と連携して歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発を行います。	健康づくり課	新型コロナの影響により「歯の祭典」は中止しましたが、歯の優良者の表彰や各週間に合わせて広報での周知活動を実施、また歯の健康フェアを開催しました(来場者184人)さらにオーラルフレイル予防として、市主催による「歯にかみ教室」を2か所で開催したほか、出前講座(3か所)、県主催の「歯ミング教室」(全3回×2コース)を連携して開催し、延べ116人(前期高齢者含む)が参加しました。	継続	オーラルフレイルの周知啓発	「歯ミング教室」を参考に、オーラルフレイル予防も踏まえた「歯にかみ教室」を実施	健康づくり課 健康増進担当	3571
21	こころの健康に関する事業	こころの健康づくりに関する知識の普及啓発を行います。	福祉課(地域支援担当)	自殺対策と合わせて、パンフレットの配架やホームページを活用した周知を実施	継続	無	無	福祉課 地域支援担当	3552
22	大牟田市地域健康推進協議会との連携	大牟田市地域健康推進協議会が実施している「健康づくり市民大会」や「大牟田みんなの健康展」を支援し、健康づくりに関する全市民的行事として充実を図ります。	健康づくり課	新型コロナの影響により「大牟田みんなの健康展」を中止しましたが、「withコロナ」をテーマに感染対策を行いながら「健康づくり市民大会」を開催しました。(市民大会参加者約200名) 講師:日本医師会名誉会長 横倉義武氏 演題:「健康な社会に向けて」	継続	大牟田市地域健康推進協議会とのさらなる連携と事業の充実	無	健康づくり課 健康増進担当	3571
23	健康づくり地域活動の推進	校区まちづくり協議会、町内公民館連絡協議会などに対する地域ごとの健康に関する情報の積極的な提供を行い、健康づくりの取組みに対する支援を行います。	健康づくり課	一部の校区まちづくり協議会において、校区住民のがん検診受診者数等の健康づくりに関する情報を提供しました。また、地域での健診実施や出前講座、校区まちづくり交付金のメニュー設定などにより取組みの支援を行っており、地域健診推進事業として16校区で実施しました。	継続	主体的な取組みの広がり	無	健康づくり課 健康指導担当	3393
24	ふくおか健康づくり県民運動の推進	ふくおか健康づくり団体・事業所宣言への事業所登録の推進やふくおか健康づくり県民運動発信サイトを活用した情報発信等により、県民運動の推進を図ります	健康づくり課	県民運動の取組みの1つである「ふくおか健康ポイントアプリ」の活用およびアプリの特典協力店の募集について、市のホームページに記事を掲載しました。また、県民運動発信サイトにおいて、世界糖尿病デーに合わせた啓発事業について情報発信を行いました。	継続	市民及び事業所の周知・啓発	無	健康づくり課 健康増進担当	3571
25	保健センターの整備	令和2年4月の保健センター開設に伴い、施設の機能の充実を図るとともに、利用する市民にとって使いやすい施設となるよう整備を行います。	保健福祉総務課	令和3年度で終了					
26	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	高齢者の医療・介護等のデータを活用した個別的な支援や介護予防活動へ医療専門職が積極的に関わる取組み等を行います。	健康づくり課 保険年金課	未実施	継続	実施に向けた庁内外の連携体制づくりと計画策定。	R5年度中に計画を策定し、R6年度から実施予定。	健康づくり課 健康指導担当	3393
新規事業	地域保健活動の推進	個人及び地域全体の健康の保持増進及び疾病の予防を図るため、地区を担当する保健師・管理栄養士が地区の実情を把握し、健康課題に応じた保健活動を推進します。	健康づくり課	試行段階として、3つの小学校校区について、保有するデータ等の分析を行い、校区まちづくり協議会の役員等と共有しました。また、地域の状況について話を伺い、実情の把握に努めています。さらに、サロンや地域の行事に参加し血圧測定や健康相談会を実施しました。	継続	市内全域への拡大	対象校区の拡大	健康づくり課 健康指導担当	3393

【基本目標2】健康的で、住み慣れた地域で暮らし続けられる社会

(2) 食育に関する実践力向上

P105~P108

★重点取り組み

名称	主管課	主な関係部局	概要	R4年度実績	実績値(%)	事業 継続/終了	課題(あれば)	R5年度以降の変 更点	回答部署	内線
1 栄養バランスに配慮した食生活の普及	健康づくり課	市民協働部(生涯学習課) 産業経済部(農林水産課) 保健福祉部(子ども家庭課) 教育委員会(学務課)	各ライフステージ*に応じた取り組みにより、栄養バランスに配慮した食生活の普及を図ります。特に、子どもや若者世代、子育て期への周知啓発を強化します。 ・妊娠届出時、乳幼児歯科健診時における周知 ・地域で開催する料理教室・講習会などでの周知 ・栄養バランスに特化した料理教室の実施 ・食育イベントなどでの周知 ・情報媒体を利用した周知	・妊娠届出時・・・504件 ・乳幼児歯科健診時・・・1122件 ・地域で開催する料理教室・講習会・・・4件 ・栄養バランスに特化した料理教室の実施・・・2件 ・食育イベントなどでの周知・・・4件 ・情報媒体を利用した周知・・・1件	主食・主菜・副菜をそろえて1日2回以上毎日食べる市民の割合(令和元年度実績:38.3) 目標値:R3-8年度50% 実績値:42.6%	継続	周知・啓発の強化	無	健康づくり課 健康増進担当	3572

★主な事業

事業名	内容	所管課	R4年度実績	事業 継続/終了	課題(あれば)	R5年度以降の変 更点	回答部署	内線
1 妊婦や乳幼児の栄養相談	妊娠届、1歳6か月児・3歳児歯科健診、育児教室等の際、栄養相談を実施します。	健康づくり課 子ども家庭課	・妊娠届・・・481件 ・1歳6か月児・・・523件 ・3歳児・・・599件 ・栄養相談・・・684件(個人)、156人(集団)	継続	無	無	健康づくり課 健康増進担当 子ども家庭課	3572 3539
2 離乳食教室	離乳食の説明と調理実習を通して乳児期の栄養改善と保護者に対する健康教育を行います。	健康づくり課 子ども家庭課	健康教育を12回、73人に対して実施しました。	継続	参加者の増加	無	健康づくり課 健康増進担当 子ども家庭課	3572 3539
3 幼児のための食育教室	食育に関する講話と調理実習を保育所・子ども園食育担当者に行い、間接的に幼児の食育推進を図ります。	健康づくり課	3月10日(金)に幼児食教室を実施しました。 参加者14名(10保育所・1認定こども園) 《献立》 ・ツナそぼろ丼 ・高野豆腐のふわふわ煮 ・のりサラダ ・ヒカド(長崎の郷土料理)・米粉のあんまき	継続	参加者の増加	無	健康づくり課 健康増進担当	3572
4 食育アドバイザー講座	参加者が食育に関する講義と調理実習等を通して知識を習得し、ボランティアとして活動できる人材を養成します。	健康づくり課	10月5日～11月24日の期間で食育アドバイザーを計8回実施しました。 ・講義と調理実習6回 ・参加者11名	継続	参加者の増加	無	健康づくり課 健康増進担当	3572

★主な事業

事業名	内容	所管課	R4年度実績	事業 継続/終了	課題(あれば)	R5年度以降の変更 点	回答部署	内線
5 食生活改善推進員への活動支援・研修	食生活改善推進員協議会会員に対して研修会を実施し、同会員の資質の向上と地域住民の食改善を図ります。	健康づくり課	<p>会員研修として、講演と調理実習を2回ずつ実施しました。</p> <p>※調理実習は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2グループに分けて別日に実施</p> <p>【講演①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月26日、参加者・・・18名 ・講師：大部 正代氏 ・演題：「人生100年を楽しく生きる」 <p>【講演②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月1日(水)参加者・・・16名 ・講師：大塚製薬(株)担当者の講演 ・演題：「生活習慣病対策について」 <p>【調理実習①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「食べ力をつけよう！」 ・7月29日/8月5日、参加者・・・計28名 <p>【調理実習②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ウイルスに負けない体をつくろう！」 ・2月15日/3月1日、参加者・・・計21名 	継続	無	無	健康づくり課 健康増進担当	3572
6 食育のボランティア活動支援	おおむた食育応援隊の活動支援等を通じて、健康料理についての知識や技術の普及を図ります。	健康づくり課	登録の更新を促すとともに、大部正代氏による「人生100年を楽しく生きる」(食改善の研修会)について、研修会の案内を送付しました。	継続	積極的支援	無	健康づくり課 健康増進担当	3572
7 食育講座	出前講座などの依頼に応じて、子どもや妊婦、高齢者など各世代への食生活全般の講義と調理実習などを実施します。	健康づくり課	<p>まちづくり交付金事業を活用した講座等を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区4カ所(三川・大牟田中央・手鎌・倉永校区)・・・60名 ・白川幼稚園の保護者・・・10名 ・明治幼稚園の保護者・・・26名 	継続	依頼実施がない団体への対応	無	健康づくり課 健康増進担当	3572
8 地区公民館における食育講座	子どもの体験講座や家庭教育講座等において、食育講座を実施します。	地区公民館(生涯学習課)	7地区公民館で19事業実施 2事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	継続	無	無	生涯学習課 地域学習担当	4364
9 食育の啓発事業	6月の食育月間や9月の食育フェア及び大牟田みんなの健康展において、講演や展示、体験ブース設置等により、食育の啓発事業を実施します。	健康づくり課	<p>啓発資材の作成や啓発事業に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月の食育月間に合わせて、のぼり旗を作成し、啓発事業等で活用 ・大牟田動物園で、食育クイズラリーを開催(参加者454名) ・ミニミニ食育フェスタを保健センターらふるで3回開催(参加者延べ78名) ・9月の食育フェア、大牟田みんなの健康展は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 	継続	啓発強化	大牟田みんなの健康展・健やか住みよか食育フェア実施予定	健康づくり課 健康増進担当	3572
10 食の環境整備	ふくおか食の健康サポート店などの登録を通じて、健康的な食が提供される環境づくりを目指します。	健康づくり課	福岡県が作成した「うま！ラク！ヘルシー！満福レシピ」を市ホームページで周知しました。	継続	ふくおか食の健康サポート店の拡大	無	健康づくり課 健康増進担当	3572

【基本目標2】健康的で、住み慣れた地域で暮らし続けられる社会

(3) 誰もが住み慣れた地域で暮らし続けるためのサービスの提供

P109～P114

★重点取り組み

名称	主管課	主な関係部局	概要	R4年度実績	事業継続/終了	課題(あれば)	R5年度以降の変更点	回答部署	内線
1 在宅生活を支える体制の整備	福祉課(総合相談担当、地域支援担当、障害福祉担当、介護保険担当)	市民協働部(地域コミュニティ推進課) 都市整備部(建築住宅課) 保健福祉部(子ども家庭課、子ども育成課)	どのような状態になっても、望んだ場所での生活を続けることができるように、在宅医療と介護・障害福祉サービスの連携強化等を進めることで、在宅生活を支える体制づくりに努めます。 ・医療と介護の連携促進 ・生活支援体制の充実(生活支援体制整備事業) ・居宅サービスの現状把握と課題への対応 ・在宅で看取りができる体制の充実	【福祉課総合相談担当】 在宅医療・介護連携推進事業において、意思表示・意思決定支援の推進、イベントカレンダーによる研修等の共有・発信、関係団体協働の取組の推進について、勉強会や大牟田市在宅医療・介護連携推進協議会、アクションデザイン・ワーキング実施にて取組みました。また、各包括支援センターに生活支援コーディネーターを配置し、生活支援体制整備の充実に努めました。	継続	平成28年度に策定された「大牟田市地域医療・介護連携ビジョン」において、令和2年9月に厚生労働省から示された「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」と整合性を図るため、ビジョンの更新の必要性があります。	大牟田市地域医療・介護連携ビジョンの更新	福祉課 総合相談担当	3553

★主な事業

事業名	内容	所管課	R4年度実績	事業継続/終了	課題(あれば)	R5年度以降の変更点	回答部署	内線・連絡先
1 在宅医療・介護連携推進事業	この事業に取り組むことで、最期まで住み慣れた地域で暮らし続けることができる体制の構築を目指します。	福祉課(総合相談担当)	大牟田市在宅医療・介護連携推進協議会(1回)、アクションデザイン・ワーキング(3回)を実施し、在宅医療・介護連携に関連する各機関と協働し、方向性を共有するとともに取組を実施しました。	継続	平成28年度に策定された「大牟田市地域医療・介護連携ビジョン」において、令和2年9月に厚生労働省から示された「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」と整合性を図るため、ビジョンの更新の必要性があります。	大牟田市地域医療・介護連携ビジョンの更新	福祉課 総合相談担当	3553
2 生活福祉資金貸付事業	低所得者・障害者・高齢者等の世帯へ、経済的自立と生活意欲の助長・促進を図ることを目的に、生業、住宅、災害、福祉、就学、緊急小口、離職等の各種資金の貸付相談受付を行います。【実施主体:市社会福祉協議会】	福祉課(地域支援担当)	資金の種類によっては民生委員の協力を得ながら、借受世帯の自立に向けた指導、支援を行いました。(総計280件の貸付を実施)	継続	無	無	社会福祉協議会 総合生活支援課	32-8851
3 障害児・者への障害福祉サービスの充実	障害児・者に、訪問介護、行動援護、生活介護及び短期入所等の障害福祉サービスの適切な利用の促進を図ります。また、グループホームなどの住まいの場の整備の支援を行います。	福祉課(障害福祉担当)	利用者数 居宅介護 350人 重度訪問介護 9人 同行援護 52人 行動援護 5人 生活介護 384人 施設入所支援 218人 短期入所 23人 療養介護 32人	継続	無	無	福祉課 障害福祉担当	3544
4 共生型サービスの普及	地域資源である高齢者福祉施設(小規模多機能型居宅介護事業所等)を障害のある人が利用した場合に、障害福祉の給付対象とすることや、障害福祉又は介護保険のいずれかの指定を受けた事業所がもう一方の制度の指定を受けられるよう設けられた共生型サービスを給付し、その利用を促進します。	福祉課(介護保険担当、障害福祉担当)	市内の共生型サービス事業所数 生活介護 2か所 短期入所 1か所 自立訓練(生活訓練)2か所	継続	無	無	福祉課 障害福祉担当	3544

★主な事業

	事業名	内容	所管課	R4年度実績	事業 継続/終了	課題(あれば)	R5年度以降の変更 点	回答部署	内線・連絡先
5	障害者の日中活動の場の充実	障害福祉サービスに加え、地域活動支援センターの利用を促進するなど、多様な日中活動の場の充実に努めます。	福祉課(障害福祉担当)	地域活動支援センター I型2か所 II型1か所 III型1か所	継続	無	無	福祉課 障害福祉担当	3544
6	グループホームの整備促進	施設から地域移行のワンステップとして、また、自立した生活ができる場の確保を図るため、グループホームの整備促進に努めます。	福祉課(障害福祉担当)	利用者数 共同生活援助(グループホーム) 197人	継続	無	無	福祉課 障害福祉担当	3544
7	日常生活用具給付事業	日常生活上の便宜を図るために重度障害者等に給付する日常生活用具について、その利用を促進します。	福祉課(障害福祉担当)	【給付実績】介護・訓練支援用具 7件 自立生活支援用具 13件 在宅療養等支援用具 17件 情報・意思疎通支援用具 46件 排せつ管理支援用具 2,791件	継続	無	無	福祉課 障害福祉担当	3544
8	特別障害者手当等の制度の周知	特別障害者手当等の制度を紹介した障害者福祉のしおりやホームページ等により、各種手当制度の周知に努めます。	福祉課(障害福祉担当)	障害者福祉のしおり、広報おおむた及びホームページにて制度の説明を掲載しました。また、手帳交付の際に、制度等の簡単な説明を行っています。	継続	制度に該当するかどうか、また、要件を満たすための必要書類が障害者手帳のみでよいのか、診断書も必要なのかなどの判断が難しいため、対象者に対する制度の詳しい周知は困難と考えています。このため、他市のホームページ等を参考にしながら可能な限り周知内容の充実を図るとともに、手帳交付時には、対象者に対して手続き漏れがないよう確認と説明を確実にまいります。	無	福祉課 障害福祉担当	3541
9	重度障害者医療、自立支援医療(更生医療、精神通院医療、育成医療)制度の周知	障害者が医療機関を受診した場合に、医療費の自己負担相当額の一部を助成する各種医療制度について、障害者福祉のしおりやホームページ等により周知に努めます。	子ども家庭課 福祉課(障害福祉担当)	福祉課(障害福祉担当) 〈精神通院医療・更生医療〉 障害福祉のしおりやホームページ等により周知に努めました。	継続	無	無	〈精神通院医療〉 福祉課 障害福祉担当 〈更生医療〉 福祉課 障害福祉担当	3541
10	地域移行支援事業	障害者支援施設を利用する人が安心して地域で生活できるように、地域移行支援計画の作成、相談による不安の解消、外出への同行支援、住居確保、関係機関との調整等を行うなど、地域生活への移行支援を推進します。	福祉課(障害福祉担当)	新型コロナウイルス感染症の影響があり、地域移行支援・地域定着支援ともに利用がありませんでした。	継続	無	無	福祉課 障害福祉担当	3544
11	障害者福祉のしおりの充実	障害者制度の全般についてまとめ、毎年発行している障害者福祉のしおりについて、改正の内容をわかりやすくするなど内容の充実に努めます。	福祉課(障害福祉担当)	障害者制度の全般についてまとめ、前年度版からの主な項目の追加・修正等変更点を表紙の裏に記載し、改正の内容をわかりやすくするなど内容の充実に努めました。	継続	冊子全体を通して内容を分かりやすい表現等に工夫をします。	無	福祉課 障害福祉担当	3541

★主な事業

	事業名	内容	所管課	R4年度実績	事業 継続/終了	課題(あれば)	R5年度以降の変更 点	回答部署	内線・連絡先
12	知的障がい児・者医療支援プロジェクト	知的障害児・者が身近なところで円滑な医療受診ができるために、医療機関の受け入れ体制の構築や医療内外の環境整備、また、市民への周知啓発、特別支援学校*をはじめとする教育機関での医療教育の実施などについて、当事者の家族、行政、教育関係、医療関係者、市社会福祉協議会等で連携して取り組みます。【実施主体:市社会福祉協議会】	学校教育課指導室 福祉課(障害福祉担当)	大牟田特別支援学校の取組として、歯の健康教室を実施しました。	継続	救急車見学、乗車体験を行う予定でしたが、コロナ禍のため、実施することができませんでした。	無	教育委員会 学校教育課 指導室	4351
13	自立訓練等の訓練等給付	障害者が医療機関を退院し、地域又は施設へと移行する際に、引き続き維持的リハビリテーションに取り組めるように、障害者福祉のしおりや広報等を通じて、関係機関及び対象者への情報提供を行い、自立訓練等の訓練等給付の利用による社会復帰を支援します。	福祉課(障害福祉担当)	自立訓練(生活訓練)33人	継続	無	無	福祉課 障害福祉担当	3544
14	養護児教育・保育等事業費補助事業	障害があるなど、特別な配慮を要する児童が身近な地域で保育所や学童保育所(クラブ)等の利用ができるようにし、一般の児童とともに集団保育・生活を行うことで、児童の心身の発達の助長、福祉の推進を図ります。	子ども育成課	・学童保育所(クラブ) 補助申請施設数 6施設 補助対象児童数 9人 配置職員数 7人 ・認定こども園・幼稚園(1号認定児童) 補助申請施設数 3施設 補助対象児童数 4人 配置職員数 4人 ・保育所・認定こども園(2・3号認定児童) 補助申請施設数 7施設 補助対象児童数 14人 配置職員数 14人	継続	無	無	子ども育成課 教育・保育施設担当 子ども育成課 地域子ども支援担当	3371 3375
15	特別支援教育支援員活用事業	市立小・中学校において、発達障害、肢体不自由等の障害がある児童生徒の学校生活上の介助や学習活動上の支援を行うため、特別支援教育支援員の派遣を行います。	学校教育課	市内全ての小中学校の支援を必要とする児童生徒に対して、73名の特別支援教育支援員を配置し、学習支援及び学校生活の支援を行いました。	継続	支援を必要とする児童生徒の増加に伴う、特別支援教育支援員の人員の確保と質の向上。	無	学校教育課	4321
16	医療的ケアの実施	大牟田特別支援学校に在籍する医療的ケアを必要とする児童生徒に対応するため、看護師資格を有する非常勤職員を配置し、安全な教育環境の整備を図ります。	学校教育課指導室	大牟田特別支援学校の医療的ケア児5名に対し、3名の看護師を配置し、安全な教育環境の整備を図りました。	継続	無	無	教育委員会 学校教育課 指導室	4351

★主な事業

	事業名	内容	所管課	R4年度実績	事業 継続/終了	課題(あれば)	R5年度以降の変更 点	回答部署	内線・連絡先
17	排せつケア推進及び 介護用品給付事業	排せつケアについて、市民または医療・介護の専門職を対象とした研修会や相談会を定期的開催し、必要な情報や知識の普及啓発を行います。また、排せつケア相談員養成研修会を開催し、専門的な排せつケアを医療・介護・在宅の現場で実施することができる人材育成を行います。 排せつケア相談員を各小学校区に1名以上配置できるよう取組みを行います。	福祉課(総合相談担当)	【排せつケア推進事業】 排尿・排便トラブル予防教室12回(参加者120名)、市民向けフォーラム(参加者164名)、個別相談対応91名(来庁11名、訪問80名)、排せつケア相談員養成事業(新規育成は0名、相談員12名に対しスキルアップ研修3回実施)を行いました。ピアカウンセリング目的でも開催する介護者向けの排せつケア講座(5回シリーズと3ヶ月後のフォローアップ講座)には定員10名に対し9名の参加。その中の4人に対しては介護疲れ軽減のため継続的に訪問相談で対応しました。 【介護用品給付事業】 申請者全ての在宅現場に訪問し、全件、最低でも2~3回訪問を行い指導・助言を行いました。給付事業の延べ件数774件(R3年度より203件減少)	継続	・R6年度から介護用品給付事業について、交付金の対象外とする方針が示されており、介護用品給付事業を継続・縮小・廃止のいずれにするか検討が必要。 ・事業の市民啓発、周知の一層の充実及びニーズへの対応が求められています。	R5年度は変更はないが、R6年度は事業名や事業内容の変更を行う可能性がある。詳細は未決定。	福祉課 総合相談担当	3558
18	もの忘れ予防普及 啓発事業(脳の健康 チェック・もの忘れ相 談会)	認知症の早期発見・早期治療・早期支援につなげるために、脳の健康チェック・もの忘れ相談会を実施します。認知症についてのミニ学習会やチェックカードを使った検診、ミニ予防教室を行い、もの忘れ予防に関する意識向上を図ります。	福祉課(地域支援担当)	一次スクリーニングの「脳の健康チェック」を20回(258人)実施。二次スクリーニングの「もの忘れ相談会」を9回(16人)実施。	継続	無	無	福祉課 地域支援担当	3552
19	認知症ケアパスの活 用	認知症ケアパスを活用し、認知症の人と家族の支援を行います。	福祉課(地域支援担当)	本人や家族への説明の際の資料等に活用できるように、認知症ケアパスを地域包括支援センターや各医療機関等に配布しています。	継続	無	無	福祉課 地域支援担当	3556
20	地域認知症サポート チーム	認知症の人やその家族に早期から適切な支援ができるように、医療と介護が連携した「地域認知症サポートチーム」を設置しています。チームは、認知症サポート医、認知症専門医、認知症疾患医療センター、認知症コーディネーターで構成されています。	福祉課(地域支援担当)	脳の健康チェックや相談を通して把握した当事者や家族を、もの忘れ相談会等を通してサポートチームの医師と早期支援につなげました。	継続	無	無	福祉課 地域支援担当	3556
21	介護予防サービス	介護予防サービスのうち通所介護サービスと訪問介護サービスを、介護予防・日常生活支援総合事業の介護予防・生活支援サービスとして実施しています。対象者は、基本チェックリストの判定により支援が必要と判断された人、または、要支援1、2の認定を受けた人です。介護予防サービスと同等のサービスを提供する介護予防給付相当サービスのほか、サービスを提供する事業所の人員等を緩和したサービス(基準緩和型サービス)を設けています。	福祉課(介護保険担当)	・介護相当サービス事業所数 通所:44、訪問:52 ・基準緩和型サービス事業所数 通所:18、訪問:38 ・介護相当サービス利用数 通所:5,127件、訪問:5,546件 (前年比 +111、+541) ・基準緩和型サービス利用数 通所:1,895件、訪問:5,979件 (前年比 △64、△773)	継続	無	無	福祉課 介護保険担当	3522

